



新しいまちづくりに インターチェンジの活用を

上田 健一 議員

上田 氷川町の現状を打開するための起爆剤として、住環境整備による定住促進事業と結びつけることが必要だと考えます。アクセス道路沿いを農振除外し、町が宅地開発事業を行うことで民間業者も参入し、定住人口増加や企業創設による雇用の創出など、新しい町づくりに取り組むことができると思いますが、インターチェンジをどう活用していくのか。

町長 インターチェンジを造ることよりも、造った後の地域活性化につなげていくことが大切です。インターチェンジやアクセス道路を整備することで、周辺は住宅地としての可能性は出てくると思いますが、町内全体に波及効果を及ぼせなくてはなりません。そのため23年度に、アクセス道路につきなく道路網や町内の幹線道路整備などの道路整備基本計画を策定しています。

町長 滞留人口を確保するために、これまで施設を整備したりしながら取り組んでいるところですが、これからもインターチェンジの利便性を使って交流を深めていきたいと思っています。

上田 この件は昨年の6月定例会で質問したが、そのときの答弁で、県の管理河川であり、流量断面をどのくらい確保しているか堆積調査等の予算確保を要望するということがあったが、進捗状況はどうなっているか。

町長 町としては、引き続き県へ河川の流量断面の確保、土砂堆積の状況調査をしてもらい、必要であれば段階的に浚渫してもらうよう要望していきたいと考えています。



氷川町消防団「出初式」



一面白い花をつけたナシの木



アンテナショップ「氷川のしずく」

各議員の質問項目

上田健一議員

- インターチェンジの活用によるまちづくりについて
- アンテナショップ「氷川のしずく」について
- 2級河川八間川（ひろぎ遊水池）の堆積土砂浚渫について

吉川義雄議員

- 子どもの医療助成制度の拡充について
- ごみ減量化の取り組みについて
- 学校でのいじめ対策と「人権」教育等について

片山裕治議員

- 氷川町消防団員について
- 中心市街地整備計画について

田中照男議員

- 合併協定事項について
- 耕作放棄地について

江崎 悟議員

- インターチェンジ建設について

上田俊孝議員

- 宇城市・氷川町スマートインターチェンジ開通後の対策について
- 宮原振興局の今後のあり方について



高速インターチェンジ建設予定地

八間川（ひろぎ遊水池）の 土砂浚渫はどうなったか